



上小っ子

保護者との連携・協力の土台 学校委員会・学校保健委員会

9月に入り、児童の新型コロナ感染の報告が見られます。本校では子どもたちの健康・安全を第一に、基本的感染症対策をしながら教育活動を進めています。改めて保護者の皆様、ご協力よろしくお願ひします。

さて、2学期は、様々な学校行事が予定されています。コロナ5類移行後、徐々にコロナ前の生活状況に戻ってきています。本校の学校行事も、文部科学省が示した「令和の日本型学校教育」を踏まえ、目的・目標を捉え直し、日常の教育活動を逼迫することなく、内容を精選・工夫・改善しながら準備しています。PTA執行部会、学校委員会等では、運動会を始め2学期の学校行事について協議を行いました。保護者の皆様のご意見を頂きながら、上小の子どもたちにとってさらに魅力ある教育活動を創造していきたいと思ひます。

【子どもの健康を守るために】

8月30日(水)に学校保健委員会を開催しました。学校保健委員会は、本校児童の学校保健に関する問題を検討・協議し、学校保健教育の推進と発展に資することを目的としています。

本会は、学校教職員(校長・教頭・養護教諭)、PTA(保健体育部委員)で構成されています。当日は、本年度の定期健康診断の結果を基に熱心に協議し、「意識して身体を動かす時間を作ること」「メディアの使用時間を決めること」「目を休ませる時間を取ることが大切であること」等の大切なことを委員の方々と確認しました。子どもたちの健康のために、保護者の皆様と協働して取り組んでいきたいと思ひます。



帝京科学大学の連携・協力による学習支援 2年生 秋の遠足

2年生は、9月11日(月)に多摩動物公園で秋の遠足を実施しました。多摩動物公園内では、子どもたちは班行動を行いました。

当日は、帝京科学大学の動物介在教育研究部の学生19名、同大学教授の花園誠先生に学習支援をお願いしました。学生さんは、動物の先生としてそれぞれの班に付いて、各見学場所で動物についてクイズを出したり、動物の解説をしてくれたりしました。それぞれの動物への関心が一層高まったことでしょう。また、学生さんの支援もあり、班の友だちと協力して楽しく過ごせました。

帝京科学大学との連携・協力によるこの取組は2005年より始められました。上野原小が子どもたちにとってさらに魅力ある学校にしていきたいために、今後も帝京科学大学との連携・協力、地域の教育資源を活用した学校づくりを進めていきたいと思ひます。



4年生ハンコ彫り体験

4年生は、社会科で山梨県の伝統工芸について学習しています。そこで、9月7日(木)の5・6校時に「甲州手彫印章」ハンコ彫り体験学習を行いました。当日は、山梨県印章店協同組合から6名の方々が来校し、学級ごとに指導してくださいました。子どもたちは、指導して下さった先生の話をよく聴き、集中して作業する様子が見られました。その結果、一人一人が素敵なハンコを作り上げることができました。

5年生ハヶ岳事前学習

5年生は、9月7日(木)の5・6校時に、9月14・15日に実施するハヶ岳での移動教室に向けて、中込一雄先生(学校運営協議会委員)を講師として、事前学習を行いました。中込一雄先生には、八重山プログラムで日頃からお世話になっています。当日は、これまで学習してきた八重山の自然と比較しながら、ハヶ岳の自然について知識を深めました。移動教室への楽しみが一層高まったと思ひます。

